戦　後　の　教　育

子どもたちの戦後のくらし

戦後の教育環境は
校舎不足、戦時中よりひどくなった物資不足・食糧不足などの
多くの問題を抱え、劣悪を極めた

校舎不足

戦災で焼失した学校は、焼失を免れた近隣の学校校舎の一部を借りたり、旧軍施設や地域内の集会所などを利用することになったが、どの学校でも教室が不足した。

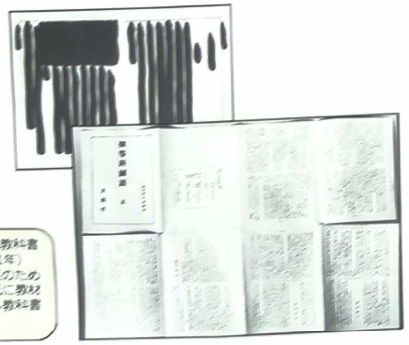
数校が同居する校舎（昭和20～21年）
校門左に「本町国民学校」
右に「千葉県立千葉高等女学校」の看板がかかっている

児童は校舎にあふれ、机、椅子も極度に不足し、青空教室・すし詰め教室で、二部授業・三部授業も行われた。

二部授業を廊下で待つ児童（昭和23年）
不足する教室を午前・午後に分けて使った
新宿小学校

物資不足

鉛筆・ノートもなく、焼けてしまって教科書すらない児童。チョークすらなかなか入手できず、謄写版インクも更紙もほとんどなかった。雨傘がないため雨天には欠席が多かった。衣服や履物にも不自由していた。冬の教室には暖房もなく、破れたガラスから吹き込む寒風に震えていた。



墨塗り教科書（昭和20年）
終戦後、戦時中の教科書の軍国教材を墨で塗りつぶして使用

新聞用紙教科書（昭和21年）
用紙不足のため新聞用紙に教材を印刷し教科書とした

むしばまれる健康

空襲で市内11軒の公衆浴場が焼失。燃料不足による入浴回数の減少でノミがわき、シラミは頭にも衣服にもわいた。
寄生虫や栄養失調、医薬品不足でトラホーム・結膜炎・伝染性皮膚病も広がった。

食糧不足

戦時中にもまして、主食は遅配・欠配続きで、代用食（雑炊・麦・芋・豆・コウリャンなど）が続いた。1日中空腹でカロリー不足、栄養状態も悪化し、戦前と比べてはるかに体位・体力は低下した。

千葉新聞記事　昭和21年5月27日
欠食児童は約2%、農村でも1食は代用食
―ますます増加するこれらの児童に対しては、学校給食の強化が最も痛切に要望される

給食の開始

昭和20年12月、ララ物資によるコップ1杯だけの脱脂粉乳のミルク給食が始まった。その後、ララ物資（脱脂粉乳と缶詰類）やユニセフの援助による学校給食が実施され、給食委員会が発足。昭和29年学校給食法が制定され、完全給食となった。

中学校は昭和42年、学校給食センターが完成して完全給食実施。

明るい児童たち（昭和25年）
少しずつ食料や物資も出まわり子どもの体位や生活も向上して表情も明るい
本町小学校

みんなで給食（昭和28年）
給食の容も少しずつ良くなっていった
都小学校

戦　後　の　教　育

平和と民主主義教育のスタート

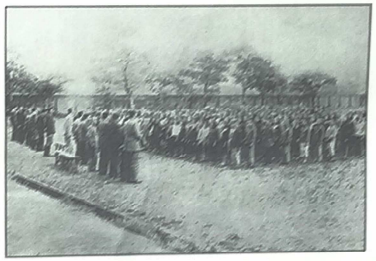
昭和22年3月31日（1947）　教育基本法・学校教育法　公布

個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期して、普遍的で個性豊かな文化の創造をめざ
教育の機会均等・自律性・男女平等・男女共学など、国民のための教育・教育の民主化がうたわれた

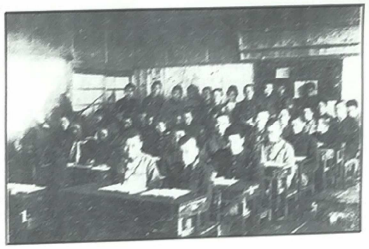
国民学校を小学校と改称
六・三制　小学校6か年・中学校3か年 が義務教育となる

新制中学校

千葉市立は　7校設立
校舎・教科書はなく、教師もいない
一切が、無（ゼロ）からのスタート
近隣の小学校に間借りしたり、旧軍施設を利用しての分散授業・二部授業。昭和25～26年にやっと校舎は完成するが、机や椅子は少なく、箱を並べたり、毎日家庭で使う食卓を持参して机にしたりした。



椿森中学校 1年
選れの開校式（昭和23年）
まだ講堂もなく野外で行われた



狭く粗末な教室（昭和24年）
二人用の木机
この年 待望の電気が入った
犢橋中学校

教育委員会

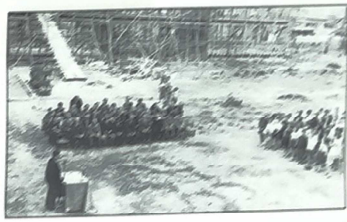
昭和23年、子どもの教育に必要なことを決めて実行していく行政機関として発足。なによりも校舎建築と教育施設の整備に取り組んだ。

学校建築

小学校の戦災校復興と中学校の建築は、戦後の財政窮乏と、柱1本、ガラス1枚も入手できない物資不足で、いかに努力しようと一挙には進まない状況であった。

千葉市教育委員会は市民の理解を得て、学校建築5か年計画を立て、一般会計予算の1/4を超える教育費予算で学校建築に取り組んだ。

市民の中にも労力奉仕だけでなく、資金面でも地元負担・保護者負担をいくらかでも行うことにより、建築を早めようという気運がおこり、PTAも各校に発足していった。このように、地域社会・保護者が側面から学校を支援する状況は、昭和20年代から30年代にかけてしばらく続き、子どもたちの学習環境を整えていった。



本町小学校の上棟式（昭和23年）
奥に建築中の校舎が見える

その後、昭和30年代半ばからは鉄筋コンクリート校舎となり、施設・設備も徐々に整い、近代化されてきました。
戦時中・終戦直後では想いもよらないほどの教育環境の充実のなかで。

平成28年5月1日現在　市立小学校　112校　児童　49,318名
市立中学校　55校　生徒　24,270名
が学んでいます。

昭和23年3月は
14校　14,668名
7校　4,484名

そして、今、いじめ、不登校、子どもたちの実に6人に1人が貧困状態など
さまざまな問題が子どもたちを取り巻いています
未来を拓く子どもたちの遥かなる旅が
平和の中で、夢いっぱいであり続けますよう、切に祈ります